

グループホーム利用希望者実態調査アンケート

結果概要について

1. 目的

本アンケートは大東市のグループホームにおける課題の解決に向けて、当事者のニーズを把握し、大東市の社会資源がより充実する仕組みを作ることを目的として実施したものです。

2. 対象者

大東市内に居住し、障害福祉サービス等を利用している障害者。(グループホーム利用者は除く)

3. 方法

- ① 大東市内の通所施設及び就業・生活支援センターを利用する障害者 500 名に事業所を通してアンケートを実施。
- ② 通所サービスを利用せず、在宅サービスのみを利用している障害者 185 名の中から 150 名を抽出して自宅にアンケートを郵送。

4. 期間 令和4年5～6月

5. 回答率 全体 38% (248名/650名)

①32% (159名/500名) ②59% (89名/150名)

6. アンケート結果

I 基本事項

【男女別・年代別】

| | 男性 | 女性 | 性別不明 | 計 |
|-------|-----|----|------|-----|
| 10代 | 7 | 7 | 0 | 14 |
| 20代 | 33 | 24 | 0 | 57 |
| 30代 | 29 | 16 | 3 | 48 |
| 40代 | 31 | 23 | 0 | 54 |
| 50代 | 30 | 18 | 0 | 48 |
| 60代 | 13 | 8 | 1 | 22 |
| 70代以上 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 年代不明 | 2 | 0 | 1 | 3 |
| 計 | 146 | 97 | 5 | 248 |

【手帳別・回答者別】

| | 身体手帳 | 療育手帳 | 精神手帳 | 身体・療育 | 身体・精神 | 療育・精神 | 身体・療育・精神 | 所持していない | 計 |
|---------------|------|------|------|-------|-------|-------|----------|---------|-----|
| 本人が自分で記入 | 18 | 40 | 52 | 2 | 2 | 8 | 1 | 16 | 139 |
| 本人の意向を確認して、代筆 | 10 | 29 | 6 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 54 |
| 本人の意向を推測して、代筆 | 4 | 37 | 1 | 8 | 0 | 1 | 0 | 0 | 51 |
| 未記入、その他 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 計 | 32 | 109 | 59 | 14 | 6 | 10 | 1 | 17 | 248 |

【手帳別・障害支援区分別】

| | 身体手帳 | 療育手帳 | 精神手帳 | 身体・療育 | 身体・精神 | 療育・精神 | 身体・療育・精神 | 所持していない | 計 |
|---------------|------|------|------|-------|-------|-------|----------|---------|-----|
| 非該当 | 1 | 4 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 10 |
| 区分1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 区分2 | 3 | 13 | 6 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 26 |
| 区分3 | 5 | 17 | 8 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 34 |
| 区分4 | 3 | 9 | 7 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 26 |
| 区分5 | 2 | 20 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| 区分6 | 3 | 11 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22 |
| 申請していない | 7 | 18 | 25 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 60 |
| 未記入、不明 | 6 | 15 | 9 | 2 | 0 | 4 | 0 | 3 | 39 |
| 区分申請しているが区分不明 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| 計 | 32 | 109 | 59 | 14 | 6 | 10 | 1 | 17 | 248 |

(身体障害者手帳は身体手帳、精神障害者保健福祉手帳は精神手帳と表記。以下同じ。)

結果概要

- ①回答者は男性の割合が高い。年代は20～50代に概ね全体的に分布している。
- ②療育手帳所持者は代筆の割合が高いが、精神手帳所持者は本人記載の割合が高い。
- ③障害支援区分に関して、療育手帳所持者は区分4以上の割合が高い一方、精神手帳所持者は区分3以下、また申請していない割合が高い。身体手帳所持者は区分2～6まで概ね全体的に分布している。

II 現在の生活について

(1) あなた（本人）は年金をもらっていますか？

| | 身体手帳 | 療育手帳 | 精神手帳 | 身体・療育 | 身体・精神 | 療育・精神 | 身体・療育・精神 | 所持していない | 計 |
|--------------|------|------|------|-------|-------|-------|----------|---------|-----|
| 障害基礎年金1級 | 13 | 33 | 0 | 12 | 1 | 0 | 0 | 0 | 59 |
| 障害基礎年金2級 | 6 | 37 | 16 | 0 | 3 | 6 | 1 | 3 | 72 |
| 障害厚生年金1級 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 障害厚生年金2級 | 2 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 障害厚生年金3級 | 1 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| その他 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 |
| もらっているが等級等不明 | 2 | 8 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| もらっていない | 4 | 15 | 26 | 2 | 0 | 1 | 0 | 14 | 62 |
| 未記入、不明 | 3 | 7 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 16 |
| 計 | 32 | 109 | 59 | 14 | 6 | 10 | 1 | 17 | 248 |

その他記載内容 申請中である（療育手帳、療育・精神）

(2) あなた（本人）は現在誰と暮らしていますか？

| | 身体手帳 | 療育手帳 | 精神手帳 | 身体・療育 | 身体・精神 | 療育・精神 | 身体・療育・精神 | 所持していない | 計 |
|------------|------|------|------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|
| 一人暮らし | 13 | 11 | 13 | 1 | 1 | 1 | 0 | 6 | 46 |
| 家族と（父母） | 7 | 69 | 30 | 11 | 2 | 4 | 1 | 5 | 129 |
| 家族と（祖父母） | 0 | 5 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 11 |
| 家族と（兄弟） | 4 | 10 | 8 | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 28 |
| 家族と（配偶者） | 3 | 3 | 5 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 16 |
| 家族と（子ども） | 1 | 3 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 12 |
| 家族と（その他） | 2 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 家族以外 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 家族と（詳細未記載） | 2 | 12 | 4 | 1 | 0 | 4 | 0 | 3 | 26 |
| 未記入、不明 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 計 | 32 | 109 | 59 | 14 | 6 | 10 | 1 | 17 | 248/285 |

※1つを選択してもらった設問であったが、複数回答した方が多くいたため、回答をそのまま反映している。

※手帳所持者数 248、回答数（複数回答含む） 285

(3) 結果概要

- ①身体手帳・療育手帳所持者ともに約80%が何らかの障害年金を受給している。一方、精神手帳所持者・手帳を持っていない人では約50%にとどまっている。
- ②身体手帳所持者では一人暮らしの割合が約40%いる一方、療育手帳所持者では約10%、精神手帳所持者では約20%となっており、家族との同居の割合が高い。

Ⅲ 今後の生活について

(1) 今後の生活で、あなた（本人）を支援してくれている家族などがいなくなった時にどこで生活したいと思っていますか？

【手帳種類別】

| | 身体手帳 | 療育手帳 | 精神障害 | 身体・療育 | 身体・精神 | 療育・精神 | 身体・療育・精神 | 所持していない | 計 |
|------------------------|------|------|------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|
| ヘルパー等支援受けずに自宅で一人暮らし | 1 | 2 | 14 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 22 |
| ヘルパー等支援受けて自宅で一人暮らし | 9 | 9 | 9 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 33 |
| 他の家族と一緒に生活をする | 2 | 6 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 13 |
| グループホーム利用に向けての練習を利用したい | 1 | 25 | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 0 | 36 |
| グループホームか入所施設か迷っている | 4 | 21 | 3 | 4 | 0 | 2 | 1 | 0 | 35 |
| 入所施設に入りたい | 3 | 7 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 14 |
| 考えたことがない | 1 | 29 | 11 | 2 | 0 | 3 | 0 | 5 | 51 |
| その他 | 0 | 6 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 回答なし | 15 | 11 | 14 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 | 46 |
| 計 | 32 | 109 | 59 | 14 | 6 | 10 | 1 | 17 | 248/262 |

その他記載内容 友達とシェアハウス（療育）、パートナーと一緒に暮らしたい（精神）

※1つを選択してもらう設問であったが、複数回答した方が多くいたため、回答をそのまま反映している。

※手帳所持者数 248、回答数（複数回答含む）262

【障害支援区分別】

| | 非該当 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 申請していない | 未記入、不明 | 区分申請しているが区分不明 | 計 |
|------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|--------|---------------|-----|
| ヘルパー等支援受けずに自宅で一人暮らし | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 14 | 1 | 1 | 22 |
| ヘルパー等支援受けて自宅で一人暮らし | 1 | 0 | 6 | 2 | 6 | 2 | 2 | 8 | 3 | 3 | 33 |
| 他の家族と一緒に生活をする | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 3 | 4 | 0 | 13 |
| グループホーム利用に向けての練習を利用したい | 0 | 0 | 3 | 3 | 6 | 7 | 7 | 3 | 7 | 0 | 36 |
| グループホームか入所施設か迷っている | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 7 | 9 | 6 | 5 | 0 | 35 |
| 入所施設に入りたい | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 1 | 2 | 4 | 1 | 14 |
| 考えたことがない | 3 | 0 | 4 | 7 | 5 | 2 | 3 | 16 | 10 | 1 | 51 |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 4 | 1 | 0 | 12 |
| 回答なし | 2 | 2 | 10 | 10 | 3 | 2 | 0 | 7 | 9 | 1 | 46 |
| 計 | 10 | 2 | 27 | 34 | 27 | 25 | 23 | 63 | 44 | 7 | 262 |

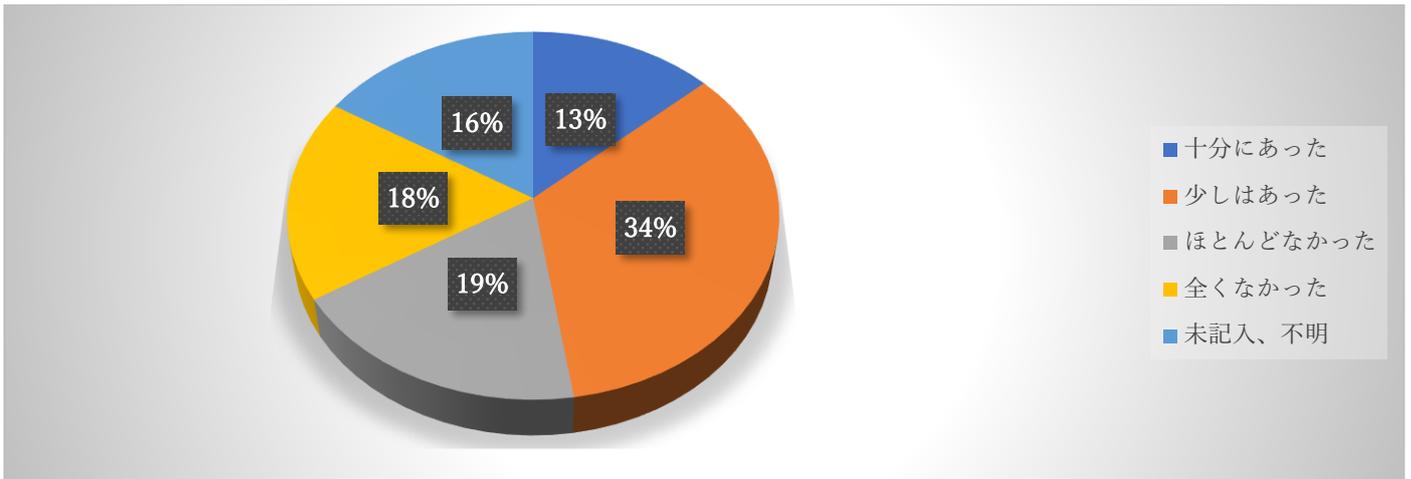
※1つを選択してもらう設問であったが、複数回答した方が多くいたため、回答をそのまま反映している。

(2) 結果概要

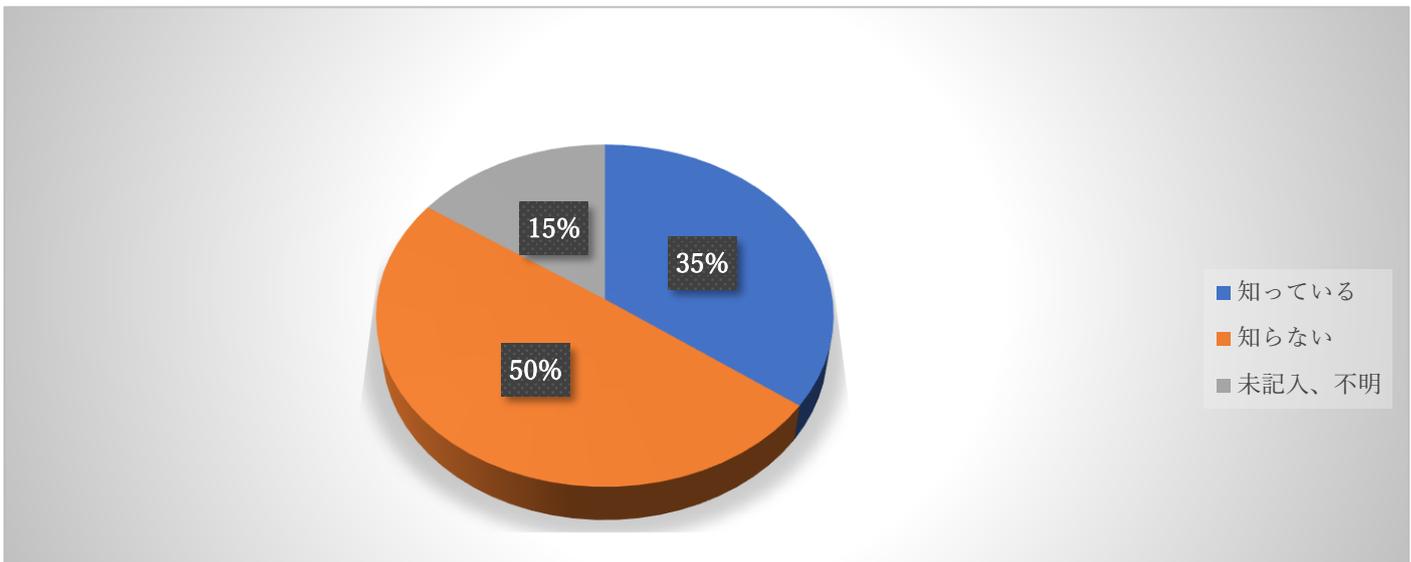
- ①身体・精神手帳所持者では自宅での一人暮らしを希望する方が約30～40%いるが、療育手帳所持者では10%未満と低くなっている。
- ②療育手帳所持者では今後自宅以外での場所の生活（グループホームか入所施設、どちらか迷っている方も含めて）を希望している方が約50%おり、グループホームへのニーズが高い。
- ③障害支援区分が4～6の方は1～3の方に比べ、グループホームを含めた自宅以外の場所での生活へのニーズが高い。

IV グループホームについて

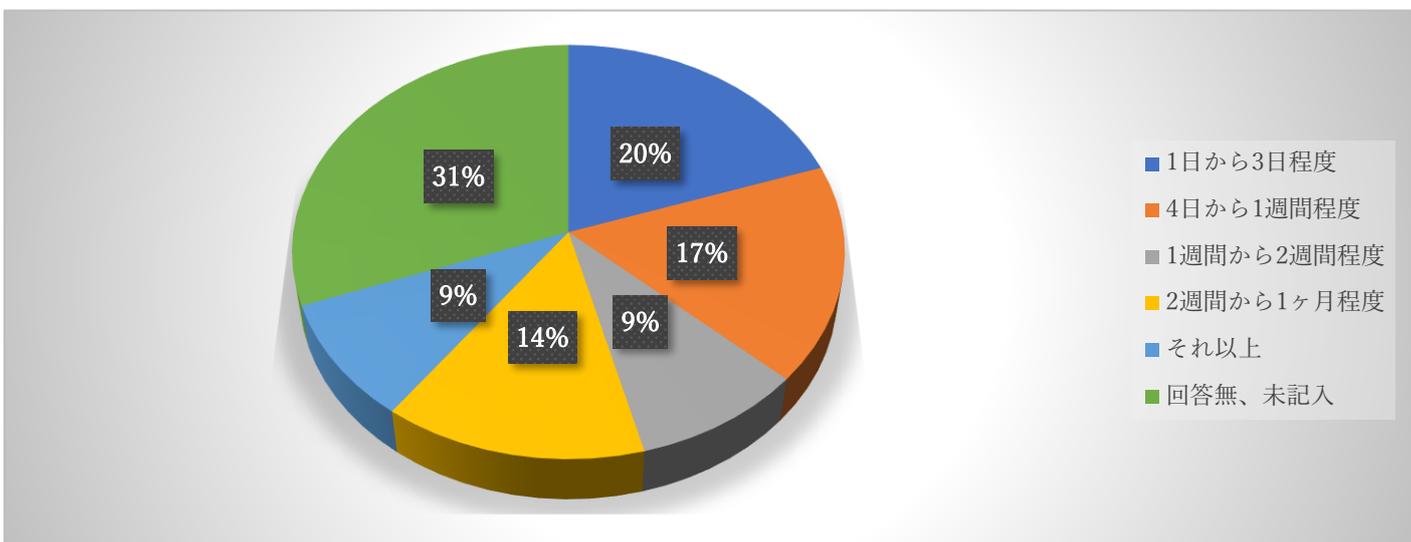
(1) グループホームのことに今まで知る機会がありましたか？



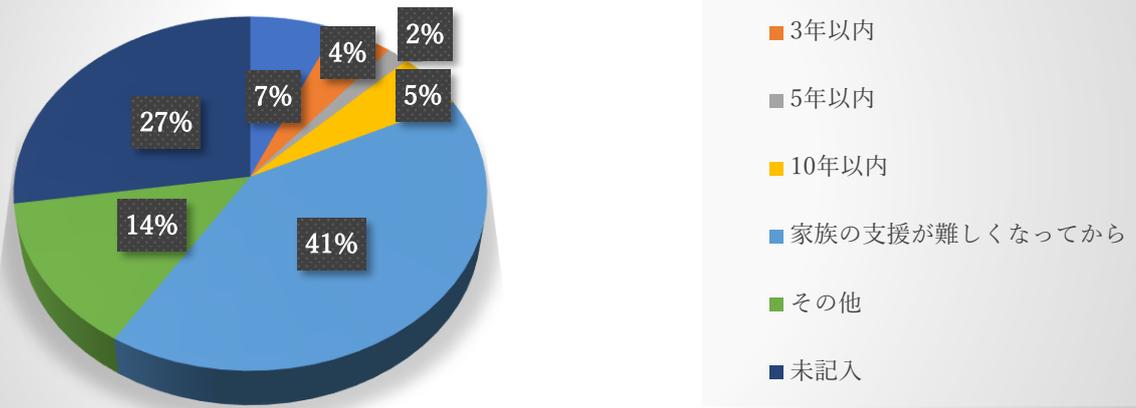
(2) グループホームの体験ができることを知っていますか？



(3) 例えばグループホームを正式に利用するとなれば、利用までにどのくらいの期間体験ができると安心ですか？



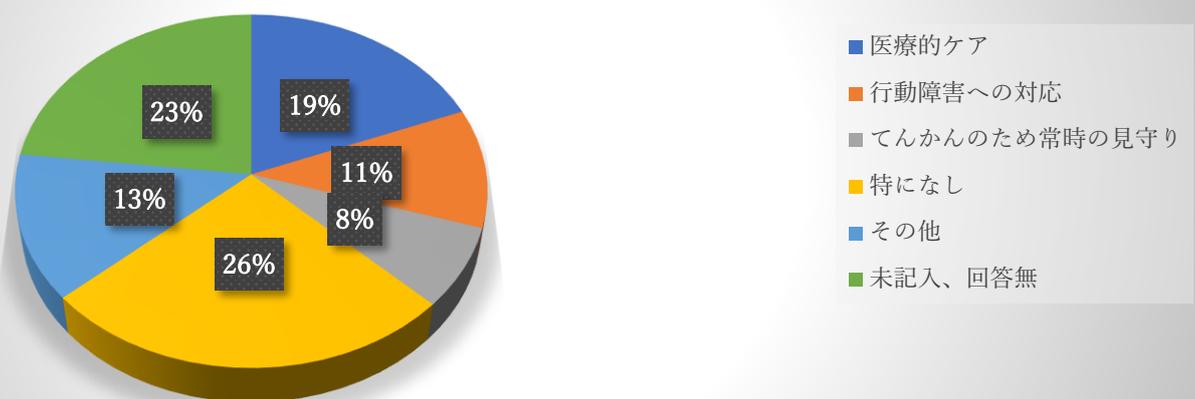
(4) いつでもグループホームに入居できるとすれば、いつくらいの時期からの利用を希望しますか？



○その他 記載内容（一部抜粋及び要約）

- ①嫌がっていかない
- ②自分でできることができなくなった時
- ③完全に一人では生活が辛すぎるようになれば
- ④一人暮らしが難しくなれば…
- ⑤良い所があれば
- ⑥歩けなくなったら
- ⑦まだ迷っている

(5) あなた（本人）がグループホームを利用するとすれば、次に記載するような対応は必要となりますか？（複数回答可）



○医療的ケア 記載内容（一部抜粋及び要約）

- ① 身体手帳所持者
 - ア 喀痰吸引
 - イ 口腔、気管内吸引、経管栄養、人工呼吸器・酸素の管理、気管切開部の消毒・ガーゼ交換。
 - ウ 褥瘡や股のトラブル・花粉症時の点眼・かぜや発熱時などの体調不良時の対応。

②療育手帳所持者

ア 喘息なので投薬・吸入。

イ CPAP

※機械で圧力をかけた空気を鼻から気道に送り込み、気道を広げて睡眠中の無呼吸を防止する為の治療法

② 精神手帳所持者

ア 糖尿病への対応。

○行動障害への対応 記載内容（一部抜粋及び要約）

ア 他害行為の抑制

イ こだわり（お茶・シャワー等）・パニック・睡眠

ウ 水でぬらす、破る、イライラして大声を出す。

エ トイレ等に物を流してしまう。

オ 性的欲望、盗癖、盗撮

カ 急に暴れたり大声を出す。物を壊す。

キ 水分を摂りすぎる・トイレの水で遊ぶ。

ク こだわりが強く、場面場面で切り換えが難しかったり危険の察知が難しかったり、他人のお世話を焼いたりするので他利用者の迷惑にならないような見守り、制止が必要。

ケ 知的障害があり、心配性やこだわりが強く、興奮してパニックになる事がある。

コ 周囲の環境（怖い話やテレビ、騒がしい時、サイレンの音など）や人の態度に過敏に反応し、不安になる。

サ 興奮が高まった時に攻撃的（強い力でつかむ、引っ張る、たたく）になる。しんどい状態を受け入れ会話によって落ち着かせるように努める。効果が無い時は、座薬を入れる（ダイアアップ）。

○その他 記載内容（一部抜粋及び要約）

①身体手帳所持者

ア 入浴介助、買い物

イ 今の所はないがADL（日常生活動作）の進み具合によって

②療育手帳所持者

ア わからないことがあった時（例えば仕事をやめて健康保険の手続きや引っ越し等の手続きなど）適正なアドバイスをもらえる、など。

イ 危険回避や健康のためのサポート（生活リズム・食の安全管理など）

ウ 病気になった時の通院、薬の管理。

エ 頭にできる湿疹に薬を塗る。薬がなくなれば通院（きつい薬を避けている）年に2回の耳鼻科での耳垢とりが必ず必要。歯科医院への2、3か月に一度の歯石とり（歯磨きが不十分）。

③精神手帳所持者

ア 人のつきあい方をたすけてほしい。

イ 金銭管理や大事な物の把握

ウ 通院のつきそい

- エ 薬 だいたいの管理は出来ると思うが確認が必要。
- オ 困った時気軽に相談出来れば良い。
- カ 体調とメンタル安定、必要なら自傷・暴力等がある場合の行動の抑制、緊急入院先
- キ 対人恐怖があるので、あまり他人と関わりたくない。
- ク 薬の管理、発作時の対応。

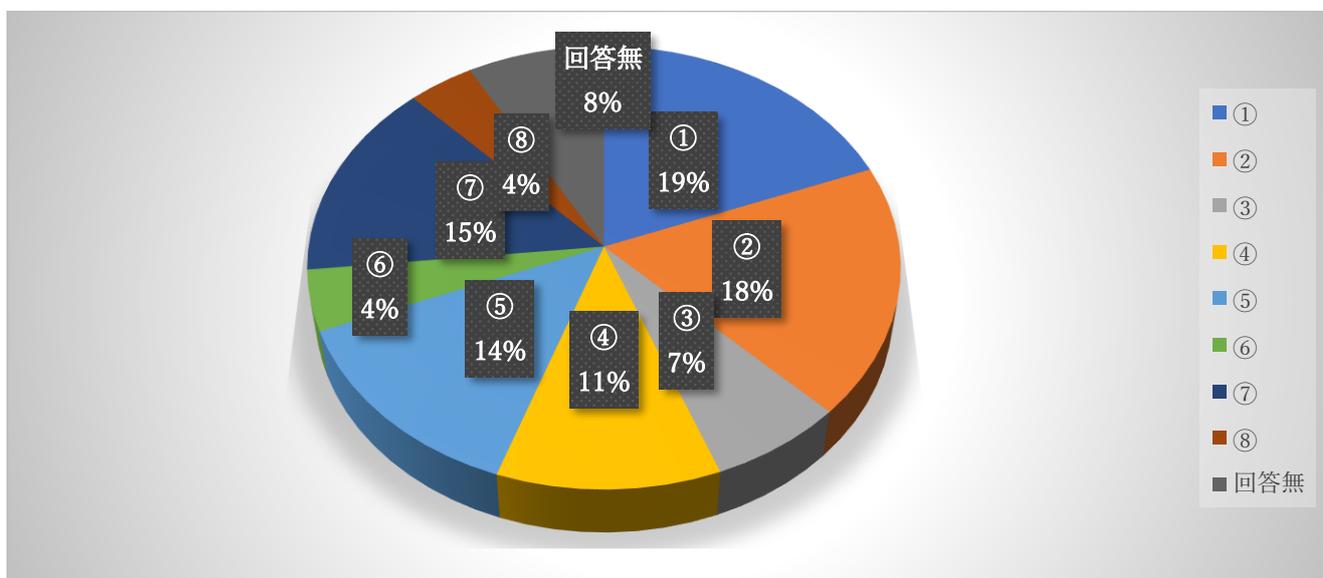
④身体・療育手帳所持者

- ア 持病からきている発作（脱力発作、強直発作）が定期的に起こる為、その時、その症状による対応。
- イ 身体障害があるので色々な場面で見守りが必要。
- ウ 知的と身体両方に障害があるので両方に対応して欲しい。

⑤手帳所持のない方

- ア グループホームに医師や歯医者に来てくれたりするのが理想。

(6) あなた（本人）はグループホームに対して、心配な点がありますか？その他、何でもご記入ください。（複数回答可）



選択肢

- ①同じグループホームに住む人とか職員さんと仲良くなれるか心配。
- ②お金がどのくらいかかるかわからない。
- ③毎日薬を飲んでいるけど、自分で管理ができない。誰かしてくれる人っているの？
- ④グループホームってルールが厳しいのじゃないのかな。
- ⑤年金だけの収入では入れるグループホームってあるの？
- ⑥大きな声を出してしまうことがあるけれど、入れるグループホームはあるの？
- ⑦どこにどんなグループホームがあるかわからない。どこに行けば教えてくれるかもわからない。
- ⑧その他

○その他記載内容（一部抜粋及び要約）

① 身体手帳所持者

- ア 時間に制限があり、あまり自由がないイメージ。相部屋だと聞くが一人部屋はあるの？
- イ 他人と一緒に生活するイメージが湧かない。
- ウ 自由な生活ができないと思われること。（スケジュールなど含む）・プライバシーがない。
- エ 障害レベルが同じ住人同士とは限らないこと。
- オ （テレビが見れるのかインターネットができるか等）どのくらい自由行動ができるかがとても不安。
- カ できる限りは今の環境で生活を維持したいとアンケートを回答しながら思う。
- キ 現在は生活介護事業所に通所し、作業や様々な活動を行っている。それと同様のことがグループホームで出来るかが心配。親の支援が難しくなったら、グループホームで生活できれば親も安心。食事は一人で食べることができるが、入浴、歯磨きは全介助で、排泄の失敗も多い。大きな声が苦手で、周囲の人が大きな声を出すとパニックになる。支援は大変。
- ク 生活すべてにおいて介助が必要な状態でグループホームが適当かどうか分からない。
- ケ 身体障害と言うより知的障害の人が利用するイメージがある。
- コ グループホームの方が入所より現実的に思えるが結局は介護者次第なので支援内容が同じなのであれば職員さんの能力と人間性次第だと思う。
- サ 後遺症により、服薬、衣服の着脱などが一人でできず、一人で行ったとしても時間がかかる。家族がほぼ全てを支援している。

③ 療育手帳所持者

- ア 人が多いのが苦手。
- イ ずっと（終身）利用し続けられるのか？同じグループホーム・入所施設でもいいので何らかの保護下で暮らしてほしい。
- ウ 入所施設、グループホームに将来的には確実にお世話になると思う。経済的な面や、本人に合うかどうかの不安がある。独りになっても生きていける居場所を用意していく必要があると考えている。
- エ 具体的にどんな風に生活しているのか知りたい。
- オ 本人が自転車などに乗れないので遠い所にある場合は送迎などがあればいい。
- カ 睡眠リズムが不規則。昼夜逆転、1時間おきの覚醒、中途覚醒など。夜中に目が覚めると普通の音で過ごしたり、他の人を起こしたりしてしまう。そうなると、食事のリズムも崩れる。他にも支援が必要なが多くあり、グループホームの利用は不可能だと感じている。
- キ 洗身・洗髪、歯磨き、時候に合った服の準備、多量飲水（茶）、異食への支援が常に必要。保湿クリームの使い過ぎもある。現在家族が行っているが、これだけ大変な支援をどこまでやってもらえるのか、不安だし心配。入れたいけど二の足を踏んでしまう。
- ク 子に重度の知的障害があり、常時誰かの声かけや見守りが必要。こんな状態でも入れるグループホームがあるとは思っていなかったので全く選択肢には入っていなかった。月1回くらいでお試し宿泊ができれば本人も少しずつ慣れて入所もスムーズなのかなと思う。
- ケ スタッフの負担、能力、信頼。安定して勤務していただけるか。スタッフの人員不足。グループホームの経営も心配。
- コ 父母がいなくなった後1人では生活できない。
- サ 何度かそのような話はするけれどむずかしい。家でヘルパーに身の回りを支援してほしい。
- シ グループホームだと、病院関係が心配。
- ス 言葉としてグループホームという事は知っているがどこまで理解しているのかわからない。生活が変わるといふ事に非常に抵抗を感じる子なので、いざ入れるとなってもすんなりといくかどうか案じる。

セ 人との対応がむずかしく、でもかまってもらいたい。ききわけがなく注意されるとすぐキレる（物を投げたり、こわしたり）時には自分の頭をたたいたりして止まらなくなる等でグループホームで皆と一緒に生活できるか心配。

ソ グループホームの泊まれる入居人数を増やし、ホテルなどの露天風呂やマッサージエステなどを作り宿泊する部屋がたくさん増えたらいいと思う。

タ 薬をぬっているけど、自分で管理できない。誰かしてくれる人っているの？就寝時少したまに大きな声を出してしまうことがあるけれど、入れるグループホームはあるの？爪を自分で切れないので心配。

チ グループホームには見学に行っているの親としては安心だが、本人は家が一番で、グループホームに入ってくれないのでどうしたらいいのか考えている。

ツ 親が死ぬようなことがあれば、子は障害年金の6万程しか収入がないので心配。

テ 私の子はとても無理だと思う。

ト いまのところ妹が元気だから考えていない。

ナ お金を預ける時勝手に使われていないか心配。

ニ まわりがうるさいと眠れない。静かで、1人暮らしと同じ環境のグループホームがあったらいいと思う。

ヌ ワンルームを借り上げたグループホームではなく施設型のグループホームを希望。

ネ 父子家庭の為、今後の生活に不安を感じる部分が多く、どの様な事を今後しておいたら良いか等、不明なところが多い。

④ 精神手帳所持者

ア 安心して過ごせるか不安。

イ ほぼワンルームのようなグループホームがあると助かる。会社の近くが良い。

ウ 未知の事に対し心配。

エ 利用者同士の近所トラブルに対しての対処や支援をどうされるのか？

オ 利用しようと思っていない。

カ グループホームで家事の練習などができ、一人で何でもできるかが不安に思っている。グループホームがどのようなものか見学などは可能か。

キ むしろ仲良くしたくない。放っておいてほしい。一人になりたい。でも1人じゃ生活出来ない。困っている。

ク 1人で生活する事が難しいと思ったら頼れる場所があるのなら心強くありがたく思うが、人とかかわる事が苦手、人と接触したくない、一人でいたいと思う所が不安。人とかかわるのは無理だし、でも一人でも生活が難しいといつも板ばさみの感情がどんな時も不安な問題。

ケ 障害者にもやさしい時代になっていると思い、又、大東市はくらし良いかと思い、感謝している。これからもあたたかい障害福祉課であってほしいと思う。障害者も一国民なので、国民、市民としても暮らし良くなればと思う。

コ 職員がしっかりしているかどうか重要。利用者が温厚かどうか重要。

サ 夜更かししてもいいのか。

シ 自分一人で何でもできて生活できるか。金銭管理。

ス ヘルパーにしてもらっている家事支援、洗い物、部屋の広さ、駐輪場

セ 外出を禁止されたりするの？プライバシーはあるの？職員さんからの体罰はあるの？面会に誰かが来た時会わずに断ることはできるの？死んだら納骨とかしてくれるの？

ソ グループホーム自体どういうものなのか知らない。

タ 経済的理由

チ 人の交流が苦手な一人暮らしの方が気が楽である。

ツ そもそもグループホームに住みたくなく、生活空間を他人とシェアしたくない。

⑤ 身体・療育手帳所持者

ア 日中活動の充実度を考えると入所施設ではなく現在通所している所を続けながらグループホームで夜間支援を受けるという方向になる。しかし、行動障害的な部分や常時発作対応等の条件に合ったところがあるのかが不安でそうなると本人をよく理解してくれている現在通所している法人が作るグループホームへの入居を目標にして順番待ちをするのが一番近道なのかと思う。最近軽度の人を対象の GH がやたら増えているとも聞かすが、そういう所がより重度対応を考えて当事者によりそう姿勢をとってくれたらありがたいと思うが…

イ 医療的ケアをしっかりとやってもらえるか心配！吸引回数が多いこともあり、一人にしたことがないので、ホームではみてもらえるのか不安。ショートステイについても医療的ケアの人が利用できる所を作ってほしい。

ウ 自分自身で身体の病状や不調等を伝える事が出来ない為他の人に任せて大丈夫かと不安である。

エ 騒がしい場所や人が苦手なので静かな環境で落ち着いて生活できるか心配。土日は帰宅しないといけないのか？その時は居宅介護を利用できるのか？重度の車椅子使用者で、トイレやお風呂介助、その他身の回りの世話をしてくれるのか心配。病気に関して心配なので看護師にいて欲しい。訪問リハビリは受けられるのか？話を聞いたり、不安な心のケアをしてくれる人がいて欲しい。社会福祉法人と民間のグループホームの違いがわからない。潰れないか心配。

オ 本人のこだわりを十分に理解してくれるところがあるのか？グループホームで病院に行く必要がある時、支援はしてくれるのか？親が年をとり家でみてやれなくなった後、単に住みかとしてではなくオールマイティな支援をしてもらえるのかと不安を感じる。それとは別に、大東市でショートステイ先も少ないのにうまくショート利用として使わせてもらえる施設がその中で一つでも二つもないのか？と強く思う。

カ 全てにおいて介助が必要なので、その場合でも根本的にグループホームに入ることが可能なかわからない。

キ 全面介助。食事をミキサーにかけた後トロミをつけて食べさせてもらっている。大丈夫か心配。

⑤ 手帳所持のない方

ア グループホームに入居はしない。理由は、うつ病、パニック障害、対人恐怖など他にも様々な病気や症状を抱えており自分のペースでないと生活できないから。人には見えない所で苦しんでいる。そのため一人暮らしがどうしても必要不可欠。病院に行くのもかなりの覚悟と症状がマシでないとなかなか行けない。何時にどこどこでとか約束はほぼ守れない。

⑥ 結果概要

- ア グループホームについて何らかの形で知る機会があったと答えた人が約半数（47%）いた一方で、体験ができることを知っていた人は35%にとどまっている。
- イ 体験利用の期間については、60%の方が1ヶ月までの期間を希望している一方、それ以上必要と答えた人も9%いた。
- ウ グループホーム入居までの期間について、1～10年以内の具体的な年数を考えている人は18%にとどまり、41%の人が家族の支援が難しくなってからと答えている。
- エ グループホーム利用にあたり必要な対応について、38%が医療的ケア、行動障害、てんかんなどへの特別な対応が必要と答えている。
- オ グループホームに対しての不安な点について、人間関係の面、金銭面、服薬管理面、行動障害への対応など、複合的に不安を抱えていると回答した人が多数いた。また、グループホームについての情報提供をどこでもらえれば良いのかわからないと答えた人も15%いた。

V 全体結果概要

- ① 今回の調査を通して、現在グループホームを利用していない障害者や家族の「将来の生活に向けてのニーズ」が明らかになった。障害種別により一定の傾向が見えてくる結果となっている。
- ② 身体手帳所持者では、自宅での生活を希望する方と自宅以外の生活を希望する方が約半数ずつ存在している。グループホームを検討する方の中には、グループホームで医療的ケア（口腔、気管内吸引、経管栄養、人工呼吸器・酸素の管理、気管切開部の消毒・ガーゼ交換等）に対応可能か不安を抱えているとの回答が見られた。
- ③ 療育手帳所持者では、グループホームを希望する方が多いものの、行動障害への対応やてんかん発作、身辺処理面での介助についてグループホームで対応可能か不安を抱えているとの回答が多かった。実際、支援が必要な内容は当事者の障害特性により多岐にわたっている。
- ④ 精神手帳所持者では、自宅での生活を希望する方が約半数おり、自宅以外での生活を希望する方は約10%にとどまっている。理由として、人と関わるのが苦手な共同生活は辛いとの回答が多く、ワンルームタイプのグループホームなど環境面での配慮があれば利用が広がっていくのではと考えられる。
- ⑤ 障害支援区分別に考えると、障害支援区分が4以上の方にグループホームやその他入所施設を希望する割合が高い。入所施設を希望した方の中には「グループホームで対応してもらえるのかわからない」との意見も見られ、グループホームの利用も検討していることがわかる。今後、より重度の方に対応できるグループホームが必要となることを示す結果となっている。
- ⑥ 全体として、グループホームという社会資源の存在については一定認知されてきているものの、具体的な支援内容等や制度（体験利用等）については深く浸透しておらず、必要性を感じても利用に躊躇してしまう現状があるのではと考えられる。
- ⑦ 障害特性に応じた特別な支援が必要な方は多く、また支援内容も多岐にわたっている為、今後さらに幅広い事業者の参入を促す必要性を示す結果となっている。
- ⑧ 今回のアンケート結果を広く周知することで、グループホームの利用を希望する障害者・家族とグループホームの新規・既存事業者とがうまくマッチングされ、多くの障害者が地域で充実した生活を送れるようになることを期待する。